

本当の喜び
安らぎとは
苦悩の中にも
見出せる

やすらぎ

子供会報告

孟蘭盆会法要

八月十二日(木)

午後 勤修

詳細は3頁

詳細は2頁



春彼岸会1



春彼岸会2



寺ヨガ

光照寺寺報

発行所

真宗大谷派 弘興山
宗教法人光照寺

〒331-0821

さいたま市北区別所町102-2

電話：048-651-2781(代)

FAX：048-651-2753

E-mail

yasuragi@beige.ocn.ne.jp

ホームページ

http://koshoji76.jp

発行人 住職 池田孝三郎



春彼岸会



住職法話

盂蘭盆会法要

- ・8月11日(木)
- ・午後1時30分～3時(1時受付)
- ・光照寺本堂にて
- ・勤行・法話

※準備の都合上、出席人数をご連絡下さい。
預骨されている方は率先してお参り下さい。

お盆参り

- ・7月13日から16日の期間
- ・8月 1 日から16日の期間
(11日は除く)

※ご希望の日にちをお知らせ下さい。
時間につきましては、こちらで調整して連絡させて頂きます。
ご自宅か当寺のいずれかで読経いたします。

ひとくち 抄異歎

羅漢:「いそぎ浄土へまいりたきころのそうらわぬは、いかに。」第9章



「煩惱の所為なり。他力の悲願は、かくのごときのわれがためなりけり。」

川越喜多院の五百羅漢



ヨガ1



ヨガ2

お寺でヨガを毎週月曜十時～十一時開催しています。インストラクターはトモヨさん。南インドの先生より古典ヨガを習得。初めての方も歓迎です。ご興味の方は当寺までお問い合わせ下さい。

寺
ヨ
ガ



ヨガ3

子供会報告

光照寺子ども会ポニークラブ

花まつり

大塚 陽子

四月四日(月)一時より 光照寺本堂にて、大人十名、小人七名の参加により、あいにくの雨模様なので、花の丘公園に行つて遊ぶ予定が、お寺で過ごすことになりました。

(最初に) 勤行し、あいさつと行事日程、自己紹介、花まつりの説明の後、花御堂にお参り、おしゃかさまの紙しばいの読み聞かせ、ペープサートによる創作話し、と絵本の読み聞かせをしました。

休けい中にぬりえをしたり、まちがいがしをして遊び、フルーツポンチを食べたのち、後半はなぞなぞクイズをした後、新聞紙を使ってジャンケンゲームをし、最後は恩徳讃をして解散しました。

今回は、晴れていれば、公園で外遊びの予定でしたが、お寺で皆さんでゲームやクイズ、絵本の読み聞かせ等で楽しみました。

次回の子ども会は七月二十八日(木)を予定しています。
皆様ぜひご参加をお待ちしています。



真の依り処

人間とは何か。私はどこから来てこの先どうなるのか一寸先闇です、私は老病死で逝く身なのに今なぜ生きているのでしょうか。自分の中で解決出来ない大きな問題があるからこそこの教えにこの身を置き法ではどう解いて下さるかを聴かして頂く事が救いです。悩みのない人はいません。みんな抱えている個々の問題を声を大にして共有し本願を信じ念佛申す身になりそして一足先に浄土に還られた諸佛に遇い南無阿弥陀佛のいわれをたずね南無とは阿弥陀佛に二心なく一心にお願いしますたのみますとそうしますと阿弥陀の用きで光明の光に照らされその光の中におさめ取って頂きこの衆生と違い阿弥陀の明るいどこまでも広い世界へと導びかれ念佛一つで生きられ浄土を感じ幸せが得られます。

南無阿弥陀佛
岡田ノリ子

鈴の音

南無阿弥陀仏をいただく
娑婆しやばにおいても浄土の旅

曾我量深
(『曾我量深集(上)より』)

お知らせ

寺務所より

新型コロナウイルスに関して

●新型コロナウイルス感染予防・拡大防止に伴い、予定されている行事は状況により、中止又は変更がありますのでご承知下さい。随時HPをご確認頂くかお問い合わせ下さい。個別のご法事、お葬儀はお参りさせて頂きます。

◆法要のご案内

●孟蘭盆会法要

八月十一日(木)、午後一時三十分より勤修。

●秋季彼岸会法要

九月二十三日(金) 午後一時三十分より勤修。

●報恩講

十月二十九日(土) 講師は隆彰見先生。

◆聞法会のお知らせ

●親鸞聖人のみ教えに聞く会は休会。講師は延塚知道先生(大谷大学名誉教授)

●大経の会

十月は報恩講、十二月十三日、午後二時～午後四時。講師住職。細川巖著『正信偈讃仰(七)』を学んでいます。

●我聞の会

六月二十二日、七月二十七日、九月十

四日、十月二十六日、午後二時～四時まで。「歎異抄」を学んでいます。講師は住職。

●微風学舎

六月十六日、七月二十一日、九月二十九日、十月二十日。午後二時～四時まで。講師は住職。「高僧和讃講義(二)延塚知道著」を学んでいます。

◆サークル

・聲明サークル、七月八日、九月二十七日。午後二時～四時。講師は住職。

・絵解きサークル、十月十四日、十二月十六日。

◆子供会

七月二十八日(木)。夏休み企画。

◆寺ヨガ

お寺でヨガ。毎週月曜十時～十二時。講師トモヨ先生。興味ある方はお問い合わせ下さい。

◆お願い

●ご自宅で法事の際は駐車場をご用意下さい。宜しく願います。
住所・電話番号変更の際は必ずご連絡下さい。



俳句・川柳

吉澤 光昭

夏草やレリーフ黙す一ノ倉

朝焼の山下に尾瀬の覚めやらす

パラグライダーふわりと浮いて夏に入る

ここからは結果となる滝しぶく
先頭は雲海に消ゆ尾根づたい

短歌(詩)

佐々木 玄吾

うぐいすの声を聞きつつ

堤防を

歩けば頬に 風心地よし

竹藪をくぐりぬければ

川辺には

魚とる子や 花を摘む子や

釋尼 邦照

うすらぎつ

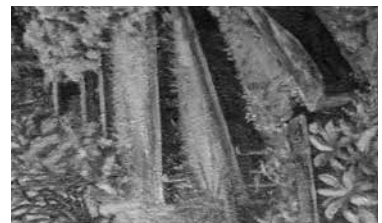
意識のむこうに 光さす

よりそい はげまし ミダの声

釋尼 眞教(大間真弓)

遠い地の 心が痛む惨状に

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏



ロバハウスへの入口
山田 邦興 画

梵鐘

「二日に一回は外に出て歩くのがよい」と教えられた。家のそばには多摩川の堤防がある。階段もあり坂道もある。富士山も見えるし用水には鯉も泳いでいる。家を出て東光寺運動場まで約一時間かけてこの堤防を往復している。途中で川辺へ下りて行ったり、細川先生のことを憶念したりしながら歩いている。先生は毎日歩いてその歩数を手帳に記して歩いた距離を計算して「九州から東京まで往復したぞ」又「歩くことは万病に利く」と言われた。私が毎日休まずに歩けるのは先生がいつしよに歩いて下さるからであろう。八十七才の老妻もいつしよである。

佐々木 玄吾